

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：一般国道12号 <small>みねのぶ</small> 峰延道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北海道開発局								
起終点：自：北海道 <small>いわみざわ</small> 岩見沢市 <small>おかやま</small> 岡山町 至：北海道 <small>びばい</small> 美唄市 <small>しんとく</small> 進徳町		延長：6.3km								
事業概要： <p>一般国道12号は、札幌市を起点とし旭川市へ至る延長約145kmの幹線道路である。 このうち峰延道路は、交通混雑の緩和、交通事故の低減による道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした、岩見沢市岡山町から美唄市進徳町に至る延長6.3kmの4車線拡幅事業である。</p>										
H19年度事業化	H一年度都市計画決定	H20年度用地着手								
H23年度工事着手										
全体事業費	約99億円	事業進捗率								
		13%								
計画交通量	22,400~24,300台/日									
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2	総費用 (残事業)/ (事業全体) 83/96億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 115/115億円	基準年 平成23年						
	(残事業) 1.4	事業費：66/79億円 維持管理費：17/17億円	走行時間短縮便益：100/100億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：4.2/4.2億円							
感度分析の結果： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.4 (交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=1.2~1.7 (交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.1~1.3 (事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=1.3~1.5 (事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=1.3~1.5 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.4 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=1.2~1.7 (交通量±10%)	事業費：B/C=1.1~1.3 (事業費±10%)	事業費：B/C=1.3~1.5 (事業費±10%)	事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=1.3~1.5 (事業期間±20%)
(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.4 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=1.2~1.7 (交通量±10%)									
事業費：B/C=1.1~1.3 (事業費±10%)	事業費：B/C=1.3~1.5 (事業費±10%)									
事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=1.3~1.5 (事業期間±20%)									
事業の効果等 事業の必要性及び効果 <ol style="list-style-type: none"> ①交通混雑の緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・交通混雑の緩和による、定時性の確保や利便性の向上が期待される。 ②走行環境の安全性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・走行環境の改善により、交通の安全性向上が期待される。 ③救急搬送の安定性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・高次医療施設への救急搬送の安定性向上が期待される。 ④農水産品の流通利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・空知、上川振興局管内で生産された水稻の流通利便性向上が期待される。 ⑤日常活動圏中心都市への利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏中心都市である岩見沢市への利便性向上が期待される。 ⑥CO₂排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車からのCO₂排出量473(t-CO₂/年)の削減が期待される。 										
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： <p>岩見沢市など10市15町の首長で構成される「北海道空知地方総合開発期成会」等より、早期整備の要望を受けている。</p>										
知事の意見： <p>現道の4車線化により、美唄市街地における交通混雑が解消されるとともに、走行環境の安全性の向上が図られるなど、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続について異議はない。</p> <p>なお、事業の実施にあたっては、環境への影響を最小限にとどめること。また、徹底したコスト縮減を図るとともに、これまで以上に効率的・効果的に執行し、早期供用を図ること。</p>										

